

2014.12.19

今年も、海浜植物保護センターは 環境学習の場として多くの方に ご利用いただきました！

地元の自然を学習

今年度は、例年にも増して環境学習のため多くの方々に保護センターを訪れて頂き、教育機関でのご利用が1129名、その他の団体では326名になりました。環境教育の重要性が注目される昨今、当センターを活用して石狩海岸の自然環境の理解を深めていただけるよう、今後とも魅力あるセンター作りをして参ります。

さて、今年度の利用の中から石狩中学校一年生約30名の浜学習を取り上げご紹介したいと思います。今回は、「郷土を知る」総合学習の一つとして、地元の自然を学習しました。計10時間（学校でのまとめの時間を含む）、2日間に分けて行いました。これまでは、保護センターの職員がプログラム作りや、当日の引率を行っていましたが、今年は新しい取り組みとして「いしかり海辺ファンクラブ」の会員の方々にも関わって頂きました。結果として、対応できる人数も増え、例年より細かな対応ができました。

はまなすの丘と砂丘へ

一回目の7月22日は風も穏やかで観察にはピッタリの天気でした。小グループに分かれ「はまなすの丘公園」の木道を植物を観察しながら歩きました。ボランティアさんの話をしっかりと聞きメモを取る真摯な学習態度が印象的でした。さらに砂浜まで地面の変化や植物の変化を観察しながら歩きました。砂浜に着くと、自由行動となり、オニハマダイコンを抜く子、イソコモリグモを探す子などに分かれ楽しく過ごしました。

その後、保護センターに戻り、まとめを行ってから、砂丘崩壊地までバスで移動し、前半とは違う石狩海岸を観察しました。砂丘が大規模に荒らされている様子に子供達は驚き、ショックを受けていた様でした。最後に砂丘から波打ち際に至る植物の植生の違いや、落ちているゴミ、生き物などを観察し、一日目を終了しました。子供達は学校に戻ってからその日のまとめを行いました。



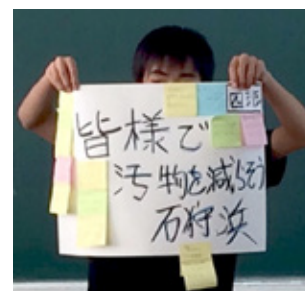
ハマナスの実を切ってジャム作りの準備

はまなすのジャム作り

二回目の授業は10月9日。この日のメインイベントは、ハマナスの実のジャム作りでした。保護センターに到着すると、隣接する「ハマナス再生園」で実の採取を開始。あいにく採取をするには時期が少し遅く、実が柔らかくなっていましたが、子供達は楽しんでいました。採取後は、二班に分かれ、実から種を取ったり、ハマナスの種をポットに植えました。ジャムを煮ている間は、再生園でハマナスの苗の移植作業。中には、ゴミを広いながら移植をしてくれる子もいたり、各自自分に出来る事を一生懸命してくれました。

午後は、ボランティアさんも一緒に中学校へ戻り給食を食べました。午前中作ったジャムは大好評！皆で切ったので大きさにバラツキがあり、若干固い部分もありましたが、「思ったより美味しい！」との声が聞こえてほっとしました。

給食後は、二回行った学習で学んだ、石狩浜の良いところ、悪いところを振り返り、石狩浜のキャッチコピーを各班に分かれ考えました。



班ごとにキャッチコピーを発表

今回の学習が、子供達の心に残り、一人でも多くの子が郷土の自然を大切にしてくれる事を願います。（石狩中学校のブログにも今回の学習報告が掲載してあります。<http://ishikarijrhs.blogspot.jp>）

来シーズンが待ち遠しい！

ハマナス再生園はここまで整備が進みました！

ハマナス再生プロジェクトの中核にもなるハマナス再生園の整備は、昨年6月に保護センター隣接地7千平米に繁茂していたススキなど内陸性の植物を剥ぎ取ったことからスタートしました。

その後、本紙はまぼうふうvol.46でもお伝えしましたが、造園学に関わる学生によるハマナス再生地のデザイン考案ワークショップに取り組んでいただき、これを原案に、市民の皆さんとともにランドデザインを作成しました。

今年はランドデザインに基づき園路にウッドチップを敷きました。残る半分は来年度に行う予定です。



ハマナス再生園の航空写真。2014年9月27日の石狩鮭祭りの際、遊覧ヘリコプターに搭乗されたボランティアの石川治さんに撮って頂きました



園路入口に手作りの看板も設置しました！



園内の様子

展望の丘にも敷設



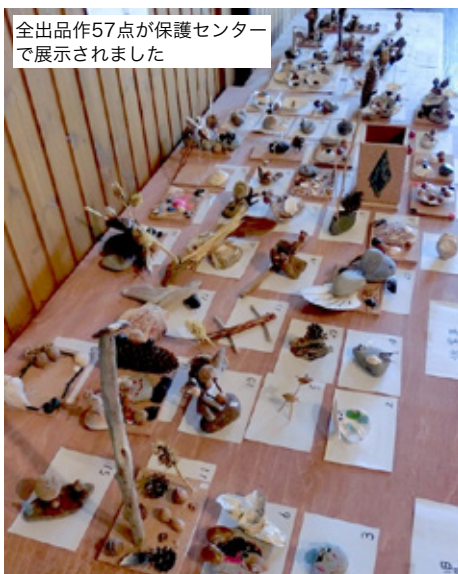
幼稚園、小学校、中学校の生徒さんや、市民の方々にお手伝いいただき、ハマナスの苗を約700株移植しました。また、ハマナスの苗作りもお手伝いいただき、約2,000ポットにハマナスの種を播種しました。

一冬雪の下で過ごして、来年度発芽した苗は、後輩に託し移植します！

たくさんの出品ありがとうございました！

ユニークな作品がズラリ！こどもクラフトコンテスト

全出品作57点が保護センターで展示されました



はまなすフェスティバル実行委員会の主催で、小学生までの子供たちを対象に海辺の素材を使ったクラフト作品コンテストを行いました。作品は、4月29日(火)～8月31日(日)の期間で募集、保護センターで夏休み期間中の7月26(土)、27日(日)、8月2日(土)、3日(日)に開催した「夏休みミニ自然教室～海辺の素材でクラフト遊び」での作品も出品して貰いました。その結果、47人の子供たちから、ほしのおふね、こびとのいえ等ユニークで楽しい57点の作品が出品されました。どの作品も自由な発想で素材をうまく活かしており、大人では思いつかないような造形が並びました。

集まった作品の中から幼児の部(4点)、低学年の部(43点)、中学年の部(7点)、高学年の部(3点)に分けて、優秀賞、特別賞8点が選ばれました。それらの受賞者に対し、9月20日(土)、保護センターで表彰式が開催され、受賞者とそのご家族、21名が参加されました。表彰式では簡単な会食のあと、ニコニコ顔の子供たちに、井出実行委員長から賞品の図書カードと賞状が手渡されました。

受賞作8点を表彰式で展示



特設テントで食事を楽しんだあと、一人一人に賞状が授与されました

●今回も力作が揃いました！

第2回石狩海辺の風景写真コンテスト

第2回目となる今回は新たにハマナスの写真のみを対象としたはまなす賞を設け、7月1日から8月31日まで作品を募集しました。9月16日、応募総数58点の中から、石狩写真クラブの進藤五郎会長とはまなすフェスティバル実行委員からなる審査員による選考会を行いました。来年もたくさんのご応募お待ちしております！

審査結果
(敬称略)

グランプリ：「高い雲」竹林真

準グランプリ：「薄葉氷の海」紅露雅之

はまなす賞：「雨の輝き」田邊英世

石狩市賞：「揺れる灯台」川崎英明

特別賞：「晩夏」下村捷二

*受賞した作品は以下のHPで確認頂けます。
<http://hamanasufesta.jimdo.com>

▼選考会の様子



●ちょこっとコラム～石狩浜のシンボル

石狩灯台のあんなコトこんなコト

石狩灯台は当初、六角形木造で道内20番目の灯台として明治25年に初点灯し、明治41年に円形鉄造に建て替えられました。高さ約14m。明治期の灯塔がそのまま現在も残る北海道唯一の灯台です。白一色だった外観は昭和32年、映画「喜びも悲しみも幾年月」のロケの際、当時始まったばかりのカラー撮影の色彩効果を出すため赤白横線塗に変更。しかし、この塗り方は積雪時に見やすいと評価され、それ以降、普及しました。

昭和40年に無人化し、平成11年、灯塔の保全工事等のため北東方向へ15m移設されました。灯火は20秒に一回光り、その到達距離は約23km(約13海里)。点検は90日くらいで行い管理は小樽海上保安部が行っています。仮に停電しても2日間は持続可能なバッテリーが内蔵されています。灯台から河口部への距離は建造当初200mでしたが、砂嘴が発達して現在は約1300mとなっています。



意外と小さい石狩灯台の電球の実物





はまなすの丘景観保全作業に多くのボランティア協力ありがとうございました



ビジターセンター付近の作業



灯台付近での作業



はまなすの播種の手順説明



スコップでアキグミ除去



阿部顧問(緑化推進協議会)の挨拶

10月25日(土)、はまなすの丘公園の石狩灯台周辺にて、外来植物のニセアカシアや内陸性植物のアキグミ、ススキなどを掘り起こしや刈り取りによって除去し、海浜植物群落の景観を守る活動を行いました。

ボランティアの皆さま約150名が参加され、精力的に取り組んでいただいた結果、約1時間半で目的のエリアは見違える様な景観を取り戻しました。また、はまなすの苗作のためのビニールポット播種作業も併行して行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

★ 冬！保護センターでふしぎ発見！

冬、毎日吹きつける北西の季節風に飛ばされた雪がたまり、海浜植物保護センターは屋根近くまで雪に埋まります。

さて、この建物周辺に小さな足跡を見つけることができます。建物の周りにできた吹き溜まりは、冬に活動する小さな生きもののすみかなっているようですね。左右並んだ小さな足跡の間に一筋の線。これは、エゾ

ヤチネズミの足跡で、一筋の線は、尻尾の跡です。エゾヤチネズミは、雪の下にトンネルを掘って行き来し、雪の下でアキグミの樹皮やハマナスの種子を食べています。そして時々雪の上に出てくるのです。

3月末、雪解けが進む時期には、雪の上に迷路のようなエゾヤチネズミのトンネルが現れます！ほんのつかの間の不思議な風景、出会えた人はラッキーです！



雪に埋もれる海浜植物保護センター



雪の上の小さな足跡



エゾヤチネズミ (*Myodes rufocanus bedfordiae*)

大きさ：頭からおしりまで10-14cm／しっぽの長さ4-5cm／体重30-50g

(片手に乗るくらいの大きさですね)



文・イラスト/内藤華子

発行・問合せ

● 編集：いしかり海辺ファンクラブ

石狩浜海浜植物保護センター (開館期間 4/29～11/3、開館時間 9:00～17:00) 毎火曜定休(祝日の場合翌日休)

〒061-3372 石狩市弁天町48-1 tel:0133-60-6107(11/4～4/28の閉館期間は以下へ)

石狩市役所環境市民部 環境保全課 自然保護担当

〒061-3292 石狩市花川北6-1-30-2 tel:0133-72-3269

E-mail: ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>